

e-ラーニングを活用した能力開発研修業務提案の評価基準

評価項目	評価の観点	配点
1 受講環境		
(1) 受講者の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・前期において、職員が能力開発に取り組むための十分な受講期間を設けられているか。 ・後期受講者の増加につながる工夫がなされているか。 	15
(2) 運用のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・操作説明に係る資料の提供や動画の配信、説明会の実施等、職員や発注者が円滑にシステムを利用できるよう配慮がなされているか。 ・事業実施に必要な人員が配置され、受講者からの問い合わせに迅速に対応できる体制が整備されているか。 	5
2 e-ラーニング講座の提供		
(3) 講座の編成・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「職員に求められる行動特性」に関連し、実務能力の向上に資する内容であるか。 ・契約実務、地方自治法、接遇・クレーム対応、法務、ハードクレーム対応、民法、債権管理、訴訟対策、契約実務、英語対応、広報、人事評価、ハラスメント対応、政策形成に関する実務能力の向上に資する内容であるか。 ・広範な行政実務能力の向上に資する内容であるか。 ・行政課題への対応に資する内容であるか。 ・管理職登用や昇任を見据えたキャリア意識の向上に資する内容であるか。 ・「管理監督者に求められる役割」に関連し、各階層におけるマネジメント能力の向上に資する内容であるか。 ・職員の学習意欲の向上及び動機付けに資する効果的な内容が数多く提案されているか。 	50
(4) 学習効果の測定	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の理解度や定着率向上のための十分な機能を備えているか。 ・受講者の視聴する講座傾向や時間、曜日等、受講状況に関する多角的なデータを発注者に提供できる提案がなされているか。 ・受講結果や成績、満足度、業務への活用有無等受講による効果を測定し、発注者に提供できる提案がなされているか。 	10
(5) システムの利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・速度調整機能の搭載や直感的操作性、AIによる推奨講座の提案、受講講座の進捗状況の一覧表示等、受講者の学習効果の向上に効果的な利便性の高い機能が整備されているか。 ・発注者が職員の受講講座の進捗状況等を把握しやすい管理者画面の視認性や操作性、機能面での工夫がなされているか。 	10
3 受託体制		
(6) 受託体制・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・官公庁又は民間企業におけるe-ラーニング研修業務等の受託実績を有し、その業務に従事した経験を有する者又は人材開発分野に関する専門的知識を有する者を主担当者に配置する等、本業務に対する深い理解と熱意を持ち、誠意をもって確実に業務を遂行する体制が構築されているか。 ・運用スケジュールは適切かつ運用可能な内容となっているか。 	5
4 その他提案アピール		
(7) 独自性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業全体を通じて、仕様書に記載されている内容以外に有益な提案がなされているか。 	5
合計（満点）		100